No.73・74

Newsletter

The Friendship Force of Aichi

発行 2007 年 12 月

9 月１日、名古屋で中部ブロック会議が開かれ、各クラブの代表および愛知クラブの役員合わせて 34 名が参加、FF 活動についての情報交換および今後の活動について活発な意見交換が行われた。
9 月 21 日～10 月４日、アメリカ東部のハリスバーグ、セントラル・ノースカロライナ両クラブへ 21 名のメンバーが訪問した。なお、2009 年には両クラブからの受け入れが実現する見込み。
この交換をもって、2007 年度 FF 愛知の主要年間行事は完了した。

2年間を振り返って

会長　冨岡　達也

今年も、早 1 年を振り返る時期となりました。そして、私にとっては何はともあれ会長としての任期満了を迎えようとしております。

思えば 2 年前、会長に選出された時は、いささか当惑しましたが、皆さんのサポートにより何とか無事乗り切ることができました。

APF という大イベントを控えていたため、よそ見をしている暇もなく、却って良かったのかもしれません。多忙ではありましたが、私にとってはこれまでに無かった経験もでき、また多くの知己も増え有意義な 2 年間でした。

この 2 年間の交換を振り返ってみると、オーストラリア・ノースモートンクラブの受け入れに始まり、今回のハリスバーグ、ノースカロライナ交換に至るまで、全て相互訪問の形がとれ、互いに友好を深め合えるという理想的な結果になりました。

2006年春　ノースモートン受け入れ

最大のイベントであった APF は、周知のとおり大成功をおさめました。しかし、この間における各担当の皆さんの努力は大変なものでした。

一方、この経験によって得たものは非常に大きいものがあったと思います。

2006年秋・コスタリカ受け入れ

その成果は、その後の交換や各種行事の遂行にハッキリ現れました。

APF 終了後、息つく間もなく受入れたカルガリークラブ、中部ブロック会議、そして今回のアメリカ東部への訪問等でも進め方に、余裕すら感じられました。

10 月の全日本大会では、ブラウン会長から FF 愛知の成功に対し賞賛をいただきました。

大会にはアメリカ東部交換直後だったため、私一人だけの参加でしたが APF に参加頂いた方々との再会を楽しむことができました。

2006年春 ドイツ・ベルギーへ渡航

このように最近の活動は充実したものだったと思います。

スムースに物事が進む一方で、形を整えすぎかなという気もします。“多少の行き違いがあっても良い。それを互いに笑いあえるような雰囲気さえつくれればそれで成功”という肩から力の抜けた進め方も良いかと思っています。

さて、これまでのことは、これまでのこととして、今後のことにも目を向けなければなりません。

今年の日本大会でブラウン会長は、次のようなことを言われていました。

「私は良く 2 つの質問を受ける」と。

「一つは FF の現状、もう一つは、将来は如何」ということです。そして「私の回答は、現状は非常にうまく行っている。しかし、問題は後の質問の方です」というものでした。

現在多くのクラブは会員の加齢と新入会員が伸びていないという問題を抱えています。

このため FFI では、今、次の３つのことを進めているというものでした。

１、現在の交換をより確固したものにする。
　　単なる友人確保でなく、言葉、文化、歴史の壁を越えるものだと再認識する。
２、学生や、先生などの交流の場をつくる。
３、最後に趣味を通した交流の場をつくる。
　　というものでした。

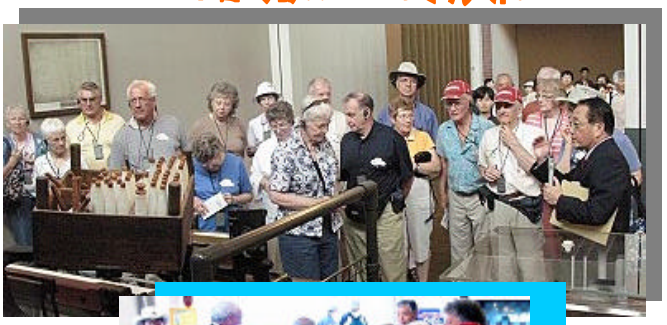
これらの諸案は、当クラブにおいても今後の課題として十分考慮して行く必要があるでしょう。

最後になりましたが 10 月の役員会で次期会長として留任することになりました。来期は以上のことを念頭において皆さんとともにより良いクラブへと前進させたいと願っています。

2007年春　APF開催

2007年秋 アメリカ東部へ渡航

2007年春 カルガリー受け入れ



上　トヨタテクノミュージアム見学
下　キリンビール工場見学

ハリスバーグでは森に囲まれたホストの家で、ウエルカムパーティーが開催されました。

親睦会

今年はバスで蓼科へ行きました

蓼科高原バス旅行に参加して

前田純二

８月９日、ＦＦ愛知の親睦バス旅行に 34 名の皆様と共に参加させていただきました。

車中では参加者の自己紹介等、にぎやかに会話がはずみ、楽しい時間が流れていました。好天に恵まれ、車窓からは八ヶ岳連峰、蓼科山等が美しく目に映りました。昼食をホテルエキシブ蓼科でイタリア料理をいただいて、温泉、散策等を楽しんだ後、八島湿原を散策しました。咲き乱れるシシウド、オオカサモチ、ヤナギラン等の高山植物が目を楽しませてくれました。帰り際、茅野市の中川孝一様からブルーベリーを差し入れしていただきました。

始めて参加させていただいた今回の親睦会でしたが、会員の皆様方とも親睦を深めることができ、とても楽しく有意義な一日でした。ありがとうございました。

APFの慰労と親睦のバス旅行に参加して

渡辺治美

昨年は、APF の下見を兼ねた彦根城と琵琶湖の花見バスツアーに参加し、今回は、慰労会に参加いたしました。係りの方の「お手伝いを頼むね‥‥‥」と言うことだったのですが、バスの中ではすっかりリラックスしてしまって、皆さんの活動の様子に感心しているだけの、いいとこ取りのバス旅行でした。ありがとうございました。

参加前日のメールを見たら、昼食は「エクシブ蓼科」ということなので驚きました。同行した杉浦さんから聞いたとおり、美しい庭園、調度品、フラワー、すべてがラグジュアリーって感じでした。明るいレストランでは、美味しいコース料理と楽しい会話で、心地よい時間はあっという間に過ぎてしまいました。日頃は、時間に追い掛けられている毎日なので、このようなリゾートホテルでもっとゆっくりしたいなと思いました。

その後は、車山高原、ビーナスライン、八島湿原のコースでした。ロープウェイから見たユリの群生、湿原の楚々とした植物や花を見て楽しみ、車内では「おぎのや」の釜飯をペロリと食べてしまいました。また、蓼科在住の会員の方からいただいた完熟のブルーベリーも最高に美味しかったです。

今回のツアーは、「至れり尽せりの旅」でした。そして、今日どこに行ったら一番良い旅になるかと、臨機応変に対処される係りの方の様子には驚くばかりでした。

それにガイドさんのトークがとても楽しく、また、いつか彼女のバスに乗ってみたいと思っています。

お天気もよく、ビーナスラインからの富士山もみることができ、素敵な一日でした。

蓼科高原

杉浦とし子

「8 月 9 日を空けておいて下さい」との連絡。私？？。でも、“了解”と返信。そして、バス旅行のお知らせがあり蓼科高原へと出かけた。

以前からすごく行きたいと思っていた「エクシブ蓼科」で昼食という事をバスの中で知らされ、期待はバクハツ寸前。まだ FF に仲間入りして間がない私は、皆さんの自己紹介や色々な国の方と交流しその後も長年お付き合いを続けているといった話に聞き入った。到着したエクシブでは、大好きなイタリアン料理に大満足！

晴天の空の下、リフトで昇った一面のユリの景観に感激！
八島湿原で鳥のさえずりを聞きながらの散策に心もリフレッシュ！

”I had a wonderful day”　“Good luck. FF Aichi”

バスガイドさんの話に
皆 大笑い

FF愛知主催の中部ブロック会議が9月1日開催されました

2007 年中部ブロック会議が 9 月 1 日名古屋国際センタービルで開催、参加者 34 名。事前に各クラブから提出された議題に沿って会議は進められていった。

1．交換時に事故が起こった場合の対応について
　・ 渡航前のアンバサダーアグリーメントの確認。
　・ 車の事故の場合―保険はあるがクラブの対応を考えておく必要がある。
2．共同渡航の際の申し合わせ
　・ 基本的には主催クラブの意向に従う。
3．ＥＤの養成と、クラブの活性化のについて
4．FFI に払う交換フィーについて
　・FFI の運営が、寄付金から現在のフィーによる運営になった現状を知りたい。

以上、活発な討議がされたが結論はあえて出さず、話し合われた内容をクラブ運営にいかしていくことを申し合わせた。
・来年のブロック会議は岐阜クラブ担当　時期は 9 月上旬開催。

「2007年中部ブロック会議に出席して」

鈴木サヨ

私はこのような他クラブとの交流会議の出席は初めてです。昼食を食べながらの歓談では静岡の方からは雄大な富士の眺めと盆石を楽しんでいる話、奈良の方からは寺と仏像についてなど、興味深い地域の身近な話題に聞き入りました。

「APF の成功は、愛知や近郊クラブのご協力の賜物です」と、会長さんが謝辞を述べられました。正にその通り、日ごろの交流が功を奏したのだと思います。

検討議題も多く、日ごろの問題点が熱心に話し合われ、有意義なブロック会議でした。

中でも英会話教室と年 4 回のイベント開催が、会員相互の交流と FF について理解を深めることが出来るという報告が印象に残りました。

出席された
他クラブの方々

アメリカ渡航を終えて

Greater Harrisburg club & Central North Carolina club 交換報告

2007年 9月21日～10月4日

プレゼントの交換

ED
鷹野晴子

FF 愛知の今回の交換に 21 名のメンバーが直前のキャンセルも無くそろって元気よく出発できたことは幸いでした。

1 週目の交換先である Harrisburg 空港に到着したのは夜 10 時を過ぎていたにもかかわらず、ホストが両手を広げてにこやかな笑顔で出迎えてくれました。それはいつもながらアンバサダーをほっとさせる FF の交換の始まりでした。

1 週間のプログラムは Washington D.C.ツアー、Pennsylvania Capitol 見学、Amish Farm 見学、等と内容のあるものでした。ペンシルベニアがアメリカの歴史の中で最も重要な場所であることが実感できました。

Central North Carolina では、Retirement Community にある美しいパーティー会場でのウエルカムパーティーから始まり、ラクダのマークで有名なタバコファミリーの住居だった Reynolda House Museum 見物、アパラチア山脈の中に位置する美しい Blue Ridge Parkway での散策、動物の成育環境を重視した 500 エーカーもの広大な North Carolina Zoo 見物、その他の日はホストとゆっくり交流できる良く考えられたプログラムでした。

交換中はいろいろハプニングがありました。Blue Ridge Parkway へのバスツアーが予定されていた朝、ツアーのバスが故障のため運行できなくなりましたが、すみやかにホストや会員に連絡され、数台の車で 2 時間半の山へのドライブになりました。いろいろな問題が起きた時の彼らの対応は、悠然としていて我々とは少々差があることに気づかされました。

広大で美しいアメリカとその歴史に触れることが出来た実りのある訪問でしたが、参加者の多くからはホストの温かいホスピタリティーと友情に感動し、心の交流を何よりも楽しんだと報告されました。この交換に参加された皆さんが民間大使として努力され、フレンドシップ　フォースとしての良い交換が出来たことを嬉しく思います。また、交換成功のために働いてくださったペンシルベニアとノースカロライナのクラブの ED をはじめ、ホスト、プログラム担当者、会員の皆様に心より感謝しています。

今後も、私たちが受けた友情をさらに世界の多くの人々に伝えていきたいと思っています。

ノースカロライナの方々と空港にて

NC の州の鳥：カーディナルス

楽しかったアメリカのステイ

山田晴久

ノースカロライナでは、リロイさんとバレリーさんが、私を大変フレンドリーに迎えてくれた。リロイさんはすごく紳士で、学校の副校長である。バレリーさんはジャマイカ出身で、陽気で何をするにもいつも私の手を取って行動し、大変やさしくしてくれた。土曜日には黒人の方達だけのすごく豪勢なパーティーに招待され、大変楽しいひと時を過ごした。

あくる日の日曜日には、ほとんど黒人の方達だけで行われている教会へ行った。もう会場は約 600 人近い人がいて満員だった。全員が総立ちになり、楽団の曲に合わせてシュプレヒコールが飛び交い、会場は割れんばかりであった。続いて、リーダーの方の熱烈なスピーチが始まった。

会も終盤に差し掛かり、その日の特別ゲストとして出席している約 10 人ほどの人が自分の席で立って一人一人紹介された。最後に私を日本から来た特別ゲストとして盛大に紹介してくれた。皆の盛んな拍手を受け、また、近くの人たちから握手を求められ、すごく感激して涙があふれ止まらなかった。バレリーさんがそっとハンカチで拭いてくれた。今もその時のことがはっきりと脳裏に浮かんでくる。あの日のパーティーや教会の出来事は一生忘れることができない思い出である。

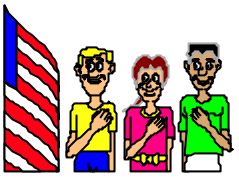
アメリカの皆さん、一緒に行った皆さん、ありがとう

橋本忠幸

道路から坂道を登っていくと、木々の間からやっと現れた家。
山の斜面を利用した、このすばらしい家は 9 年かけた手造り。
朝。窓の外にはたくさんの小さなリス。
しばらくすると、美しい、しなやかな姿の鹿が出てきた。
おもわず呼びかけると、優雅に飛んで逃げて行く。スローモーションのように。
豊かな自然。初めての体験。

しかし、何よりもすばらしく、嬉しかったのは、ホストの私たちへのもてなし。
再度の説明も、よく理解できず、怪訝な顔をすると。
一緒になって、大きな声で、はっきりと、そしてゆっくりと言い直してくれる。
何とか伝えようと。
ごめんなさい。こちらの勉強不足です。
言葉が良く理解できなくても、その温かな心遣いは充分伝わります。
こんなに親切にしていただいて、お礼の言葉が見つかりません。
民間使節として、私たちは何を伝えられたのでしょうか。
教えられることばかり。
内容が濃く、充実した 2 週間でした。
英会話の能力不足を痛感すること頻りです。

レポート　アメリカ東部交換 反省会から



ＥＤ：今回前任 ED のキャンセルにより途中から ED を引き継いだが、緊急の事態を考えて AED を 2 人に決めた。3 人体制は安心である。

会長：危機管理の面からも 3 人体制でやっていくのが望ましい。

AED：主に移動、全員をいつも掌握することに気を配って努めた結果、問題も起きず、良かった。スーツケースのベルトを参加者が同じもの、例えばグリーンのものにすると紛失も防げて良いと思う。

A　：アメリカの家の間取りが日本と基本的にちがう。ゲスト用の部屋とバスルームがセットになっているのでホスト、ゲストがリラックスできる。参考にしたい。

B　：ディナーホスト制度は大変良かった。いろいろな家庭を見ることができ、いろいろな人と交流が楽しめた。フルコースで歓迎してくれた。もてなしが慣れている。

C　：ホストが 1 週間のスケジュールをきちんと立てて迎えてくれた。その誠意に感謝。

D　：ホストが年配なので運転が怖かった。

E　：ホストが 80 歳と 84 歳で、スーツケースの持ち運びが大変だった。
一緒にステイした人も自分もそういった点で困った。高齢のホストは困る。

F　：自分の荷物は自分で管理するのが基本である。他人に期待するのは間違っている。
そういったことから、自分のスーツケースは限りなく軽くするようにしている。（14.5k）

G　：アンバサダーの同意書には自己管理が出来ない場合、サポートしてくれる同行者が必要と書かれている。

H　：日本文化を英語でもっと伝えられるよう今後は準備していきたいと反省している。
また、そういったツールを用意していく必要を感じた。

I　：昔、日本人からもらった着物をパーティーで着たいというので着せてあげたら喜ばれた。

J　：ホームステイは基本的に自分の態度次第だと思う。ホストとの関係が良くなるように考えていつもやっている。今回は男やもめのところにステイして満足に食事できないことが分かり積極的に料理してあげてお互い楽しく過ごすことが出来た。

K　：アメリカではやはり女性は強いと感じた。しかし夫婦でいつもキッチンに立ち、仲良く家事を楽しんでいるように見えた。実際はどうか分からないが。

L　：いつも習字、お茶、その他の日本文化を伝えるように道具を用意して行く。英語力の不足が残念である。勉強したい。

ED：FF ではホスト、アンバサダーの双方が高齢化していることを受け止めていかなければならないと言われている。それによって問題が発生することがあるが、それは一概に年齢からとは言えない。個人差が大きい。これからは参加者同士での協力体制を整えて行くことで、多くの人が交換を楽しめるようにできたら良いと思う。
参加者のみなさんが、良い交換になるよう大変努力されたことに感謝している。

Thanksgiving Dinner
10 kg の大きな七面鳥

ハリスバーグの空港で、ホストと初対面の安藤さんご夫妻

NC でのウエルカムパーティー
池田さんご夫妻とホスト

レシピ　CORN BREAD- FAT FREE Metric

・240ml Yellow Cornmeal　・240ml All-Purpose Flour　・120ml Granulated Sugar
・5ml Baking Powder　・5ml Teaspoon Baking Soda　・1 $\frac{1}{2}$ ml Salt
・360ml Non-fat Yogurt, Plain or Flavored　・2 Large Eggs, beaten

マービンさんによる
コーンブレッド

・Preheat the oven to 350 degrees Fahrenheit (175degrees Celsius)
・Lightly grease one 23 cm (9”) square Baking Pan.
・In a bowl combine all the dry ingredients and mix well.
・In another bowl, combine the wet ingredients and mix well.
・Stir the dry ingredients into the wet ingredients.
　Mix well, but do not overmix.
・Pour the batter into the Baking Pan.
・Bake the Cornbread on the center rack of the oven for 35 to 45 minutes, until the top is brown and a toothpick comes out clean.
・Let the Cornbread cool on a rack until you can handle it easily, then turn it out onto a plate. Let it cool completely.
・Store the Cornbread in an airtight container.
・There are approximately 1750Calories in one cornbread made from this recipe

安藤さんとマービンさん

＊ 事務局からのお知らせ ＊

＊ ２００８年度交換

渡　　航　・Costa Rica & San Antonio, US　２月２８日～３月１３日
　　ED　堀　夏江　　AED　青山　暢子
受け入れ　・Belgian Coast Club　３月２９日～４月３日
　　ED　加藤　八郎　　AED　鷹野　晴子
　　・Minnesota Twin Cities Club　10 月
　　ED　伊藤　美恵子　　AED　加藤　紀子

ホスト、デイホストの募集
ご協力くださる方は事務局までお知らせください。
・ Belgian Coast Club
・ Minnesota Club

＊ 新入会員紹介

富岡　正男
　　ひろみ　　長野県在住　　紹介者　富岡　達也

＊ ２００９年度総会

1 月 26 日　於　あいち国際プラザ
詳細は後ほどハガキでご案内いたします

編集・発行　：FF 愛知
ホームページ：**http://homepage2.nifty.com/FF-Aichi/**
事　務　局　：〒470-2101
愛知県知多郡東浦町森岡祖母懐 15-37
Tel & Fax 0562-83-8341
鷹野晴子

編集後記

広報委員 3 名全員が初めての役員。しかも広報を担当するのも初めてでした。2 年前不安なスタートを切りましたが、無事に本号を持って任期を勤めることができました。原稿を書いて下さった皆さん、いろいろご指導・ご助言をして下さった皆さん、そして、本会報を熱心に読んで下さった皆さん方に、心から感謝申し上げます。
＜ 広報委員：佐藤　白木　山田 ＞